

菊池短歌会

3月詠草

辞書を繰る視力衰え拡大鏡に頼る余生の見え隠れする
岩木妙子
宝くじ購ふ友とるて吾は今時の返却カードが欲しい
岩永典子
紅の木瓜咲き満ちて「呆けてはならぬ」と励まされをり
氏岡百枝
山深き湖のほとりの春りんどうかがまわり見つつ落葉かき寄す
梅田昭子
地に低く紫大根の花咲きぬ寒冷しるき二月のはじめ
梅野かをり
そよ風の吹きてふくらみほどけしか白木蓮に春日あまねし
北島多喜
きさらぎの雨に綻ぶ沈丁花香りの凜とあたりを包む
黒田衣子
幾たびも遊具を奪ふ子の腕に孫噛み付きて歯型残せり
古賀勝士
土方よ沖田よと群の女子高生吾も仲間に入りて語らふ
中川愛子
ひと日降る二月の雨に濡れそぼり茅草終を仄かに彩ふ
中原ちえ子



万句の里俳句会

3月句会

春うらら師の句碑仰ぐ大観峰
暖かやにこやかに席ゆづられて
山の湯にバス停ひとつ蝶の昼
光本とよいち
踏んでゆくほかなき畦のペンペン草
小山照子
春めきて直ぐにまとまる小旅行
田中美智
しばらくは目を遊ばせて初蝶黄
吉井綾子
雛飾り句へる部屋となりけり
丸山美代子
これからは土との暮し種子を時く
岩木敬治
園児らの声にぎやかに春の道
野中公枝
啓蟄や天地一切動き出す
隈部輝子
春めきて少し遠出の散歩かな
田島房子
人通り少なき町に余寒かな
加藤妙子

肥後狂句桜会

例会入選句集より

泣ごごたる つこけたうえに逮捕され 田尻浩風
泣ごごたる 出来すぎて捨てにゃん野菜 光堀善教
泣ごごたる 卒業させて職の無ア 窪田明德
泣ごごたる 失業しても有るローン 高木房恵
バイキング 鉢盛のごついれちくる 須藤新生
バイキング お相撲さんなお断り 田中孝幸
バイキング ビニール持参しとらした 藤野清子
一念発起 絶交さした飲み仲間 狩野本六

泗水短歌会

3月詠草

一念発起 サドルに替えた自家用車 高倉新米
あと僅か お得意さんに取っとかす 小川繁美
ナマ放送 上擦っとなす事故現場 上村〇子
ナマ放送 台本見てのご答弁 田中レイ子
土手染めて菜の花揺るる春の午後川面に柔き影を落せり
高藤タツノ
木瓜の花今年こんなに咲きました惜しみなく切り供華にと供う
長尾はるみ
散歩する畦のなだりの野のすみれ紫いとししばし足止む
中山定子
一筋に農に生きたる亡き夫をたまに夢見る何時も仕事着
平嶋きくえ
啓蟄の続きし雨に虫ならぬ牡丹の花芽円くふくらむ
大島さと
久方に訪い来し友の有り難く春の日供に歩くは楽し
宮本峯子
育児休暇の残り日少なき母に従き二歳児試練の体験保育
吉安永子
くもり空に小鳥飛び交ふやよい寒ともしく見つつ
増田久美子
コーヒー啜る
もどり寒八重のしら梅春の雪日に日に吹雪き花つむ木した
福原美智子

せせらぎ俳句会

3月例会

去り難きツタンカーメン春館
寺本和子
阿蘇五岳隠して今日の黄砂濃し
内村泊虹
風に乗る部屋まで匂ふ沈丁花
藤本邦浩
グルメ旅に飽きて石焼蕎麦を買ひ
五丁義昭
馬鈴薯を植えて待ちたる雨となり
服部静子
白和えに今朝頂きし芋も入れ
藤本アツ子
お土産は白酒古き店の物
坂本まつえ
熊本に一番早く桜咲く
(高1) 渡辺一史
うぐいすの声に起こされ窓開く
(高2) 渡辺大寿

肥後狂句水笑会

3月例会

言いなすな 口止め料ははずむけん
神尾迫水
多過ぎる 桜花見に来たが場所んなか
柏原兼仏
多過ぎる 好いた晴れたの事はかり
吉岡三水
物足らん それから先は聴きたかつ
続 義昭
物足らん 今いち加速効かん軽
井手水光
腹んせく 賞味期限は見らだつた
中島五女
言いなすな 言ってわからす人じゃにア
平井紅彩
多過ぎる 衝動買いで着らつさん
御手洗三代
物足らん 長生きのため我慢しゅう
宮上美由
物足らん 塩サバ買って塩せにゃん
山隈好茶

七城短歌会

3月詠草

霜の朝轍の跡も鮮明に企業戦士の孫が出で行く
木下陽子
立春と聞き悦ぶは吾ならぬ庭の紅梅蕾膨らむ
岩津涼子
我前を胡蝶一つ飛んで行く春が来たよとささやく如松岡ミチエ
薫く香の香り御堂に充ちる中居並ぶ僧侶の読経尊し
森 道子
ポカポカの陽気にカポック庭先へ居間より持出し安らうしばし
吉間充子
在りし日の母が株分け植えくれし水仙ほのかな香を止めある
水田沙陽子
初掘りの筍茹で上げ皮を剥ぐ夕餉の献立脳裏にいく
高木 精
觀賞用に植えしにあらぬ花のごと今年も庭に金柑熟れし
緒方寛子
四斗樽に高菜踏みこむ娘のためも年経る身には今年限りか
池田カツ子
「ごめんね」と詫びては夫に注射する若きナースに心絆さる
下川つぎ

旭志文芸俳句会

3月詠草

露の臺道行く人に笑むがごと
出田みどり
日脚のぶ歩数増え来し万歩計
芹川のり子
故郷や盆栽の梅香りけり
郷ミヤ子
古家の梁のきしみや日脚伸ぶ
水谷ミネ
梅の宮間近に拝む幸せよ
東 芳子
山茶花や風化する碑の廢校に
芹川蓉子
肩を揉む幼のありて春の風
中尾ヨシコ

